

## 建コン協近畿・第51回研究発表会 100編超の成果披露

# 最優秀に戎剛史氏

建設コンサルタンツ協会近畿支部(兼塚卓也支部長)は4日、大阪市の大阪科学技術センターで第51回研究発表会を開いた。会員による一般発表を始め、若手技術者によるポスター発表や大学・高専学生による発表など、100編を超える研究成果が披露された。発表論文の中から優秀論文など19編が入選、最優秀

## コンサル業務の意義発信

は戎剛史氏(国土防災技術)の「既設道路盛土の点検管理手法に関する研究」が受賞した。冒頭あいさつに立った兼塚支部長は働き方改革に関連し、ワ



あいさつする兼塚支部長

ーク・ライフ・バランス促進に対する理解を求めるリーフレットを発注者側に配布する取り組みなどについて触れた上で、「自然災害が増えている中、支部としてもさまざまなニーズに対応・対処できる体制を整えていく必要がある。建設コンサルタント業務の意義を広く理解してもらったためにも、こうした活動に今後も積極的に取り組んでいく」と述べた。

研究発表は建物内の8会場に分けて行われたほか、別本孝近畿地方整備局技術調整管理官が「建設コンサルタントをめぐる現状」、大石久和土木学会前会長が「経済成長なくして財政再建なし」と題し、それぞれ特別講演した。



第51回(平成30年度)研究発表会 (一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部

このほかにもインフラメンテナンス研究委員会や道路研究委員会による報告会、会員企業が製作したPR動画を披露する「建設コンサルタントCM総選挙」、写真展、交流カフェなど多彩な催しがあった。

最後に特に優れた研究発表に対する表彰式が行われた。最優秀のほか一般優秀賞2編、同奨励賞6編、ポスター発表優秀賞2編、同奨励賞6編、学生発表奨励賞3編が入選。また建設コンサルタントCM総選挙では投票の結果、参加した8社の中からオリエンタルコンサルタンの作品「技術で夢をつなぐ」が最優秀賞を受賞した。

### 【優秀賞】

#### 〈一般発表〉

▷河川堤防における弱点箇所抽出を目的とした組み合わせ調査法の提案—藤吉秀彰(パシフィックコンサルタンツ)▷中空床版橋のボイド上縁側の応力性状及び累積損傷度による疲労特性の解析検討—杉本記哉(オリエンタルコンサルタンツ)

#### 〈ポスター発表〉

▷時空間行動パターンの変化に着目した首都高速道路における転換行動分析—佐藤理久斗(パシフィックコンサルタンツ)▷TDRを用いた土砂流出計測手法の開発—内藤秀弥(建設技術研究所)

### 【奨励賞】

#### 〈一般発表〉

▷砂防関係施設の維持管理における既存点検結果を用いた分析手法に関する提案—原田紹臣(三井共同建設コンサルタント)▷支成交換手法の一考察—松浦圭吾(ジェイアール西日本コンサルタンツ)▷堤防植生の効率的な機能保持に向けた低草丈草種による植生転換の導入について—塩見真矢(日本工営)▷3次元測量を踏まえた特徴的な治水施設の水利的評価—松浦祐樹(八千代エンジニアリング)▷情報提供によ

る周遊行動の変容効果について—高橋千佳(オリエンタルコンサルタンツ)▷交差点近接箇所におけるラウンドアバウトの適用検討—大沢祐輔(エイト日本技術開発)

#### 〈ポスター発表〉

▷MMS及びドライブレコーダを用いた道路管理情報の調製可能性に関する研究—秋本弦太郎(アジア航測)▷地盤変形の影響を考慮した栈橋の耐震性能簡易評価法に関する研究—小田隼也(中央復建コンサルタンツ)▷土/水連成解析によるベーンせん断試験における不均一性発現の解析—竹越祥継(中央復建コンサルタンツ)▷神鍋火山におけるアルカリ玄武岩マグマの生成と起源—高橋峻(建設技術研究所)▷EEM—PARAFAC解析による河北濁流流域の溶存態有機物の動態調査—末永遠(ニュージェック)▷ネパールカトマンズ盆地における農業用水需要量の推計と将来予測—小園智皓(ニュージェック)

#### 〈学生発表〉

▷既設単純合成桁橋のジョイントレス構造化に関する検討—奥田直人(大工科大学)▷ヤブナボン橋主桁—横桁取り付け部付近の疲労亀裂に関する効果的な補修方法の提案—舟山耕平(大阪市大大学院)▷河道のわん曲と堰湛水の影響を受ける河川合流部における水制による河床変動制御に関する研究—岡本吉弘(明石高専)

つなぐ」と述べた。